

令和5年度 第1回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和5年4月26日（水） 14：30より

○場 所 小金小学校 コミュールーム

○参加者

学校運営協議会委員 出席者（敬称略）

安達 里季 伊師 嗣迪 上野 久 大谷 茂範 大橋 康司
片岡 淳一 志村 雅人 関口 貴之 丸山 達也 堀子 榮
吉野 大介 山口 真由美 西郡 泰樹

（13名）

学校運営協議会委員 欠席者（敬称略）

秋山 孝一郎 小野 順子 鈴木 悦朗 渡辺 勝久 堀合 竜太
（5名）

○次第

【学校運営協議会】 14時30分より

（1）はじめに

教頭より本日の日程説明、資料の確認等を行った。

（2）協議

①校長あいさつ

校長より、令和5年度の学校運営協議会のスタートにあたり挨拶があった。

②会長及び副会長の選任

会長は上野久委員、副会長は山口真由美委員で継続する形となった。

③令和5年度学校経営基本方針の説明

校長より令和5年度の学校経営基本方針について説明を行った

〈委員による質問、意見等〉

- ・他市や学校が違って課題の傾向は似ている
- ・ICTの活用状況は…活用が進んでいる部分もあるがハード面も含め課題もある。必要な場面で活用していきたい。
- ・教科担任制の効果は…教科の専門性のある授業ができる
ただし組み合わせ等課題あり
たくさんの職員で子どもたちの指導ができる
- ・先生方も得手不得手があるだろうし、教科担任制もよい
- ・同じ教科でも色々な角度から指導してほしい
- ・校訓を意識化していけると良い

- 地域の行事に積極的に参加できるとよい
- グランドデザインはすばらしい。どう実現していくかが大切。
- 校訓を浸透させてほしい
- 地域と家庭へも様々な発信を
- 安全を大切にして教育活動を
- 校舎はかなり老朽化しているようだが…長寿命化計画がある
- 子どもたちは小金小に通っていることを誇らしく思っている
- 昨年度行った小中の交流はとてもよく、小金小卒業生の反応もよい
- ICTは活用の意図を持って、棲み分けも重要、実際の体験も大切
- 校訓は時代に合わせてかわっていくことも必要なのでは
- 経営の方針がしっかりしていてよい
- これだけの内容があると、先生方の多忙化も心配
- 夜や土日働いている実態も、スクールサポートスタッフの配置もあるが
- つながり大切にしていきたい

④今年度の年間計画

教頭より令和5年度の年間計画について提案を行った。

〈年間計画について〉

- 協議会として何ができるのか話し合っていく時間が必要
 - 地域が子どもたちのために夢を与えられるようなことができないか
 - 学校運営協議会プレゼンツ〇〇のような活動ができるとよい
 - 市教委のバックアップのもと地域が学校を理解していく活動
 - 地域の様々な団体が学校の応援団に
 - 学校の負担が増える一方にならないよう、学校は地域に甘えてもよい
 - どこも試行錯誤しながら行っている状況
 - 次回研修では堀子先生より「学校運営協議会の役割」について学びたい
- ※第4・5回を1つにして2月に開催し、その分を6月以降で協議を追加した再提案を次回行うこととした。

⑤委員による質問、意見等

- 次回の議長は丸山達也委員 記録は参加者で当日決定

⑥会長より

- コミュニティスクールの意義を考えていきたい
- この学校に必要なことは何か委員一人ひとりが考えていってほしい